

重点課題

【課題1】「C 読むこと」における、「文章に表れている物の見方や考え方を捉え、自分の物の見方や考え方をひろくすること」(設問3四)の正答率がきわめて低く(県平均 22.7%), 無解答率が 33.3%と高い(県平均 19.6%)。

【課題2】「B 書くこと」における、「書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して、読みやすくわかりやすい文章にすること」(設問2一)の正答率が 16.7%と低い。(県平均 26.2%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】文章に書かれている、作者・筆者や登場人物のものの見方や考え方・思いが表れた表現を文脈に即して捉え、その根拠を明確にして説明し合う活動を通して、自分の考えや思いと区別・対比して読み取り、表現する力を高める。
- 【課題2】語句や文の使い方、段落の設け方や段落相互の関係、意見と根拠の対応など、読みやすくわかりやすい文章を書くために、書き手としてだけでなく読み手の立場になって自分の文章を推敲したり、書いた文章を互いに読み合っ、評価し合ったりする活動を通して、「書く」力・「読む」力を高める。

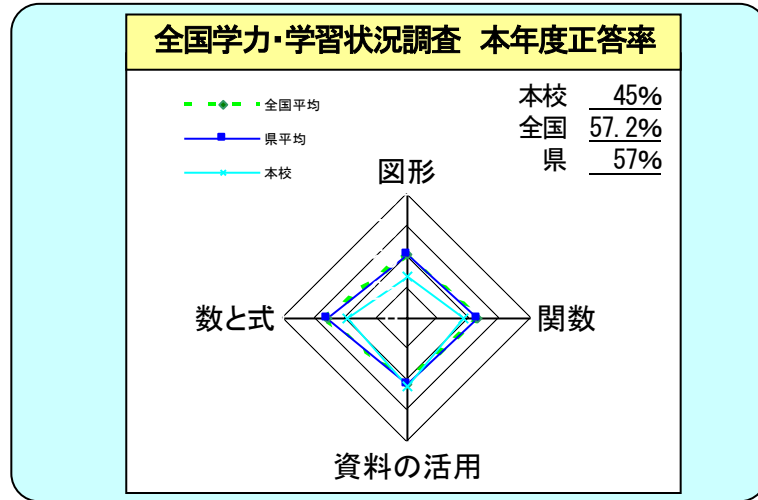
※ 小中一貫した取組については、「書く」領域に課題が見られる。そこで、目的や相手に応じて書く活動や、書いた文章が分かりやすい内容になっているかを、「読むこと」の指導で培った読む視点に沿って読み返す活動を通して、読む力と書く力を連動させながら高める取組を推進する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3年生 期末テスト			2年生 R3「全国学力」	1・2年生 学年末テスト
目標値			50%			50%	60%
実施後数値			38%			36%	1年 70%・2年 50%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3年生 期末テスト			2年生 R3「全国学力」	1・2年生 学年末テスト
目標値			60%			60%	65%
実施後数値			78%			36%	1年 88%・2年 42%

来年度に向けて

目的や相手を意識して、根拠を明らかに文章を書く活動と合わせて、読み手の立場に立って、わかりやすい文章になっているか確かめる活動を取り入れ、思考・判断・表現する力の向上を図りたい。



重点課題

【課題1】「A 数と式」における、数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができるかどうかをみる問題（設問6（3））の正答率が8.3%と低い。（県正答率30.3%）

【課題2】「D 資料の活用」における、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかを見る問題（設問8（3））の正答率がきわめて低い。（県正答率が10.5%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題1】数の性質について成り立つ事柄を事象に即して数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。指導に当たっては、事象の特徴を数学的に説明する取組を増やし、生徒同士の相互評価を行う。

【課題2】課題1と同様に、資料の活用においても判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。二つのデータの分布を比較し、傾向を読み取る場面を設定する。その際、作った二つの度数分布多角形の形や位置関係に着目して、分布の特徴について話し合う活動を行う。

※ 小中一貫した取組については、長文の読解、イメージ化、その問題の資料の活用に課題が見られる。そこで、問題把握の場面で、具体的や絵・図でイメージ化させる取組を行う。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3年生 期末テスト			2年生 R3「全国学力」	1・2年生 学年末テスト
目標値			50%			50%	60%
実施後数値			58%			43%	1年60%・2年57%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3年生 期末テスト			2年生 R3「全国学力」	1・2年生 学年末テスト
目標値			50%			50%	60%
実施後数値			42%			43%	1年60%・2年43%

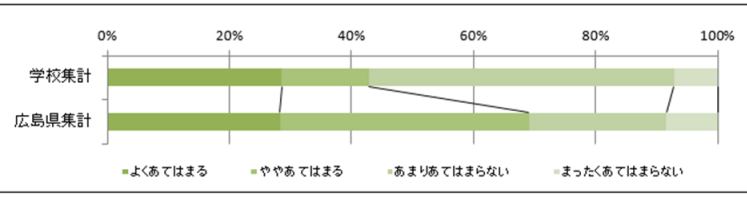
来年度に向けて

資料をもとに、その傾向を数学的な表現を用いて説明する活動や、情報を読み取り、何を根拠にして、結論に至ったのかを伝え合う活動を行う。ICTを用いることにより、コロナ禍でもできる形のグループワークに取り組みたい。

質問紙調査 (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査) (児童生徒学習意識等調査：生徒質問紙調査)

(1) 生活・学習

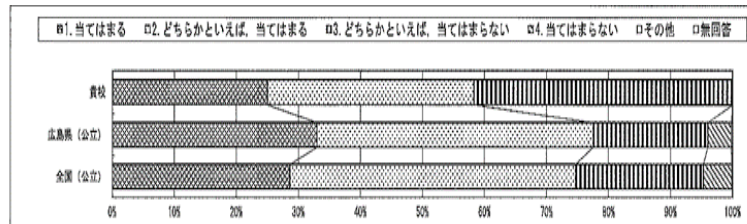
自分のよさは、まわりの人から認められていると思います。



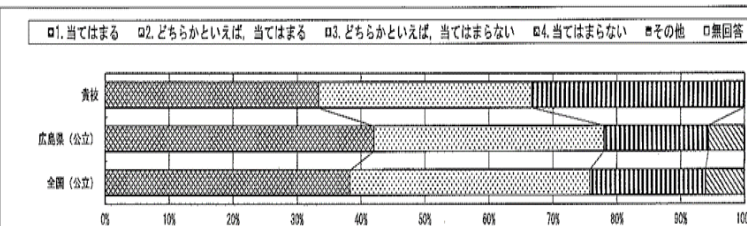
	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	自分のよさは、まわりの人から認められていると思います。(42.9%) (県平均 69.1% 令和3年度児童生徒学習意識等調査)	自己肯定感を高めるために、学習や行事などの場で自己の課題を設定させ、課題達成を適切に支援することにより、成就感や満足感を味わわせる体験を増やし、肯定的な評価を積極的に行う。 あわせて、小中で取り組む「SEL」(社会性と情動の学習に関わるプログラム)の取組を通して、自他の成長や個性を認めあう場を設定し、授業や行事などの場面に生かす。	2	70%	生徒アンケート	3月	64%

(2) 教科

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫したりしていますか。



数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫したりしていますか」(58.3%) (県平均 78.9%)	授業の中で、根拠を明確にして話したり書いたりする学習を進める。説明や、自分の考えをどう表現すると効果的かを考えて、話や文章を組み立て、読み合って評価し合う活動を積極的に取り入れる。	3	80%	生徒アンケート	3月	80%
全国・学習意識等	「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」(66.6%) (県平均 78.0%)	解き方を考える上で必要な知識技能の向上を図るとともに、授業の中で、様々な解き方を互いに説明し合う活動を積極的に取り入れる。	3	80%	生徒アンケート	3月	70%